

平成22年度 事務事業評価シート（平成21年度実績分）

事務事業名	市単道路舗装		部課コード	1602	予算事業科目	010802030172	事	単	区分	継続	
所管部署	担当部局	都市建設部	部長名(2次評価者)	海治 甲太郎		個別事務	全部	010802030172	-		
	担当部署	道路整備課	所属長名(1次評価者)	池田 誠起							
	電話番号	088-823-9461	E-mail	kc-160200@city.kochi.lg.jp							

1 事業の位置付け

予算科目(平成21年度)	高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け				
会計	01 一般会計	目標	01 A新しい価値を創造発信する都市	政策基本方針	市民の利便性の向上はもとより、国土発展の一翼を担う、世界に開かれた交流拠点をめざして、空港、港湾、道路等有機的に結びついた総合交通ネットワークを確立します。
款	08 土木費	政策	02 発展を支える総合交通体系の整備		
項	02 道路橋梁費	施策	02 人にやさしい交通環境の整備		
目	03 道路新設改良費	区分	01 生活道路の整備		

2 事業の根拠

法律・政令・省令	道路法第16条, 第42条	法定受託事務
県条例・規則・要綱等		
市条例・規則・要綱等		
その他(計画、覚書等)		

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	全ての市民	
意図	どのような状態にしていくのか	市民が安全で快適に施設を利用できるように、老朽化した生活道路の舗装整備を行う。	
手段	事業実施体制等	請負工事	事業開始年度 昭和20年
			事業終了年度 -
活動内容	どのような事業活動を行うのか	パトロール及び要望等により、現地確認し補修舗装を実施する。	
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方
	A	予算額(最終)に対する決算額	執行額での事業の進捗を測る。
	B		
	C		

4 事業の実績等

			19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	予算額(最終)に対する決算額	216,400	163,400	143,900	30,000		
		実績	220,300	163,400	143,900			
	B	目標						
		実績						
	C	目標						
		実績						
投入コスト	① 事業費	決算額(千円)	220,300	163,400	143,900	30,000	職員給5,787千円含む(19年度)	
		財源内訳	国費(千円)					職員給3,815千円含む(20年度)
			県費(千円)					職員給3,070千円含む(21年度)
			市債(千円)	220,300	155,200	136,700	28,500	
			その他(千円)					
			一般財源(千円)	0	8,200	7,200	1,500	
	翌年度への繰越額(千円)	0	0	0				
	② 概算人件費等	人件費等(千円)	28,050	30,600	30,225	38,400		
		正規職員(千円)	28,050	30,600	30,225	38,400		
		その他(千円)						
		人役数(人)	3.74	4.08	4.03	5.12		
		正規職員(人)	3.74	4.08	4.03	5.12		
		その他(人)						
		総コスト=①+②(千円)	248,350	194,000	174,125	68,400		
市民1人当たりコスト(円)		727	569	513		総コスト/年度末人口		
年度末住民基本台帳人数(人)	341,544	340,695	339,714					

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

--

6 1次評価（所属長評価）

評価日（平成 22 年 9 月 28 日）

評価項目		評価基準	1次	平均 点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① [施策体系等での位置付け] 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく B (3) 一部結びつく C (1) あまり結びつかない D (0) 結びつかない	A	5.0	総合計画の中において「人にやさしい交通環境の整備→生活道路の整備」として挙げられている。安心・安全な市民生活を維持するためにも必要不可欠な事業である。 市民意識調査において交通体系の整備に対する重要性が高い。 施設の老朽化等があり要望箇所増加している。
	② [市民ニーズの傾向] 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している B (3) 横ばいである C (1) 少ない、減少している D (0) ほとんどない	A		
事業内容の有効性	③ [成果の達成状況] 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している B (3) 概ね達成している C (1) あまり順調ではない D (0) 十分な成果を望めない	A	5.0	道路の保守管理は、社会、経済活動や市民の安全を支えていくため必要不可欠な事業である。 限られた予算内で効果的に成果がでるよう事業を実施している。
	④ [事業の手法・活動内容] 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である B (3) 概ね妥当である C (1) 検討の余地がある D (0) 見直しが必要である	A		
事業実施の効率性	⑤ [アウトソーシングの可能性] 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない B (3) 行政主体が望ましい C (1) 検討の余地はある D (0) 十分可能である	A	4.0	工事自体は、入札により業者選定しており、内容についても適正に業務委託できている。 なおコスト削減のために、経費の節減に気をつけ実施している。
	⑥ [事業統合・連携・コスト削減] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない B (3) 概ね効率的にできている C (1) 検討の余地がある D (0) 十分可能である	B		
事業実施の公平性	⑦ [受益者の偏り] 事業の受益者が特定の個人（団体）等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い B (3) 概ね保たれている C (1) 偏っている D (0) 公平性を欠いている	A	5.0	受益者負担は伴わない事業である。
	⑧ [受益者負担の適正化] 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。 補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である B (3) 概ね適正な負担割合である C (1) 検討の余地がある D (0) 検討すべきである	A		
総合点	19.0	総合評価	○ A 事業継続（総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合） B 経費削減に努め事業継続（総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合） C 事業縮小・再構築の検討（総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合） D 事業廃止・凍結の検討（総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合）		

7 2次評価（部局長評価）

評価日（平成 22 年 9 月 29 日）

総合評価	評価理由・今後の方向性等
○ A 事業継続	市民生活や社会活動の安全に関わる道路の保守管理業務であり、老朽化への対応、計画的な打換えなど今後とも継続性が求められる。
B 経費削減に努め事業継続	
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項

--